



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.801 2026.10.7

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

区民の税金は暮らし応援に

北区議会最終本会議 野口まさと議員が2025年度決算反対討論

9月8日に開会した北区議会第3回定例会は7日、最終本会議を迎え、提案された諸議案を採決して閉会しました。2025年度一般会計決算について、日本共産党北区議員団は認定に反対の立場を表明しました。(のの山けん)

党区議団を代表して一般会計決算の討論に立った野口まさと議員は、昨年一年間の北区予算執行について、3つの理由で反対するとのべました。

暮らし・営業への支援が不十分

第1は、財政調整基金が256億円にも積み上がっているのに、区民の暮らしや中小事業者の営業への支援が不十分なことです。使いみちが特定されておらず、暮らし応援に活用できる財調基金は、年度末には残高が174億円にまで減るとされていましたが、予測を82億円も上回っ

て積み上がりました。

「行革」路線に固執する姿勢

第2は、「行革」路線への固執です。1983年度からの

第一次行革から40年余、千百人にもものぼる区職員の削減を強行してきたことが現場を疲弊させ、今回の区立や

まぶき荘大規模改修工事での積算誤りなどの原因になっているのではと指摘しました。

大型開発を推し進める姿勢

第3は、超高層タワ

マンを呼び込む駅周辺まちづくりを推し進める姿勢です。

投入した税金の大部分が民間大企業の儲けとなる再開発は、「いったい誰のためのまちづくりか」と問いました。

2025年度一般会計決算の認定に反対する3つの理由

1. 区民の暮らしが物価高騰や長期金利の上昇等の影響により厳しい実態にある下で、潤沢な財政力があつたにもかかわらず、区民の暮らしや中小事業者の営業への支援が不十分にとどまったこと

2. 貧困と格差を広げる「行財政改革」を政策の第一に掲げ、職員削減、外部化、受益者負担を基軸とする新自由主義の「行革」路線に固執する姿勢

3. 駅前にタワーマンション建設を呼び込む市街地再開発計画など、公民連携による大型開発中心のまちづくりを推し進める姿勢

北区民まつり盛大に

3日と4日に区内3会場で開かれた「ふさと北区区民まつり」。久々の好天に恵まれ、親子連れなどでごった返す赤羽公園の会場を訪れ、買い物を楽しみました。(のの山けん)



公人として節度をもった情報発信を



消費税は全品目5%減税を

臨時国会開会翌日の6日、赤羽駅東口で定例の区政報告。「消費税は食料品だけでなく全品目一律5%減税を」と訴えました。(のの山けん)

7日の区議会最終本会議で、桐ヶ丘やまぶき荘の大規模改修工事現場に無断で立ち入り、撮影した写真をSNSに投稿した佐藤つかさ議員（無党派・いのちの党所属）に対する問責決議が、全会一致で可決されました。

同議員はこの間、やまぶき荘工事の過大見積もりが「誤記」ではなく意図的な改ざんではないかと議会で質問し、ネットでも発信していますが、区による再検証や第3回定例会での議論を通して積算誤りはヒューマンエラーによるものであることが明らかにになり、限定的ながら公開された資料からも、そのことは裏づけられています。

北区は、区民に疑念を抱かれることのないよう情報の全面公開と説明責任を果たす必要がありますが、公人としての議員が、議会での議論をふまえ、節度をもった情報発信に努めることは当然の責務です。(のの山けん)

2011年まで9期36年、北区議会議員として活動された中川大一さんが9月23日、88歳で逝去されました。心より哀悼の意を表します。

中川さんは、労働組合運動から議会に飛び込み、あらゆる分野で住民の願いに応える活動に尽力、議員引退後も日中友好協会東京都連理事長などを歴任し、最後まで平和の志を貫かれました。私は07年に初当選、1期4年の議会活動の中川さんと共にし、多くのことを学びました。

09年3月、日本共産党区議団の調査で、JR王子駅南口トイレからの汚水が長年にわたって石神井川に垂れ流されていた事実が発覚し、これを受けて中川さんが、予算特別委員会ですら区に対し、「原因を早急に突き止め、対

追悼

元北区議会議員

中川大一さんの思い出

この質問を契機に問題は一気に解決。私は、議会での追及が行政を動かす大きな力になることを、目の前で体験することとなりました。

中川さんの遺志を継ぎ、私も住民の願い実現のために全力を尽くしてゆきます。(のの山けん)

策に全力をあげるべき」と圧巻の追及。2年前に事態を把握しながら対策を怠っていた都下水道局と、JR東日本支社が陳謝に追い込まれました。



議員団の広島視察。右端が中川さん = 2009年12月